



## 岐阜県鉱工業指数 (平成20年9月分)

### 生産指数 前月比3.0%の上昇

※ 今回の鉱工業指数において基準改定を行いました

#### 1 概況

平成20年9月の県内鉱工業の動向を季節調整済指数で見ると、一般機械工業、情報通信機械工業等が低下したものの、輸送機械工業、電子部品・デバイス工業等が上昇したため、前月に比べ生産指数は3.0%増と上昇に転じた。また、出荷指数も5.7%増と上昇に転じ、在庫指数は12.1%減と低下に転じた。

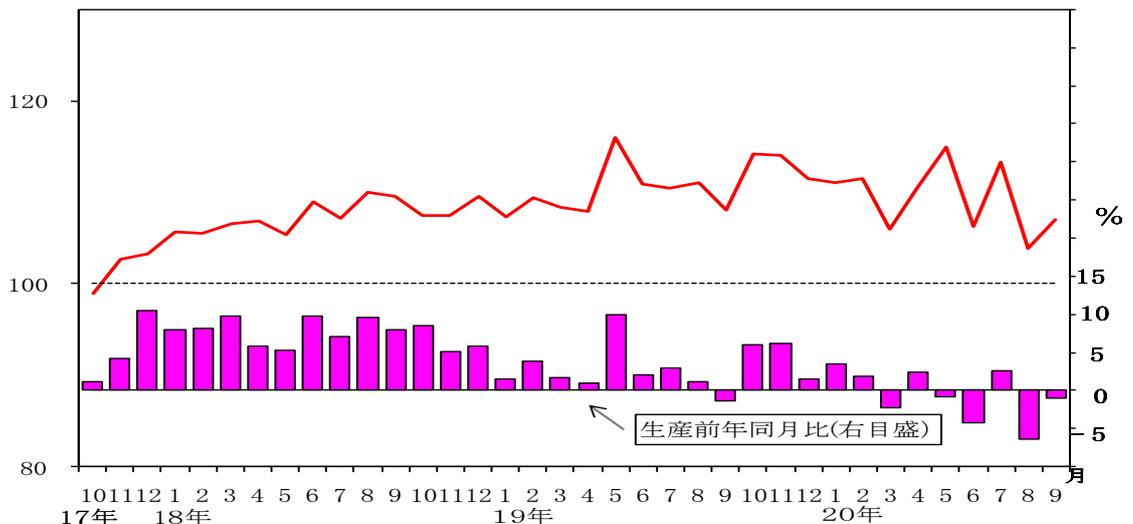
なお、原指数で前年同月比をみると、生産指数は1.0%減となり、2カ月連続で前年を下回った。

(平成17年=100)

区分	季節調整済指数		原指数	
		前月比(%)		前年同月比(%)
生産	107.0	3.0	110.0	△ 1.0
出荷	110.4	5.7	112.7	1.7
在庫	101.2	△ 12.1	103.3	△ 7.4

鉱工業指数(生産)推移

(平成17年=100)



注: 指数値は季節調整済、前年同月比は原指数による

季節調整済指数・季節的、社会制度による1年を周期として繰り返される変動を取り除いて指数化したもの。

原指数・調査によって得られた数値をそのまま指数化したもの。

※ 詳細については「平成17年基準岐阜県鉱工業指数改定の概要」を参考にしてください。

## 2 主要業種の動向

主要業種別に季節調整済指数を前月と比べると、金属製品工業の生産は、超硬チップ、軽金属板製品（産業用品）等が減少したものの、アルミサッシ、ボルトナット等が増加したため、7.3%増と上昇に転じた。また、出荷も9.6%増と上昇に転じ、在庫は14.1%減と3カ月ぶりに低下した。

機械工業の生産は、研削盤、携帯電話等が減少したものの、電子回路基板、乗用車ボデー等が増加したため、4.3%増と上昇に転じた。また、出荷も6.7%増と上昇に転じ、在庫は17.8%減と低下に転じた。

窯業・土石製品工業の生産は、触媒担体・セラミックフィルタ、特殊炭素製品等が減少したものの、タイル（陶磁器製タイル）、陶磁器製台所用食卓用品等が増加したため、1.8%増と上昇に転じた。また、出荷も5.2%増と上昇に転じ、在庫は8.6%減と減少に転じた。

化学工業の生産は、無水酢酸、自動車排気ガス浄化用（触媒）が減少したものの、メラミン樹脂、医薬品等が増加したため、0.2%増と上昇に転じた。また、出荷も7.9%増と上昇に転じ、在庫は16.1%増と前月に引き続き上昇した。

プラスチック製品工業の生産は、パイプ、日用品・雑貨プラスチック製品等が増加したものの、発泡プラスチック製品、プラスチック製フィルム等が減少したため、3.5%減と減少に転じた。また、出荷は1.5%減と前月に引き続き低下し、在庫は4.1%減と減少に転じた。

主要業種別動向

(季節調整済、平成17年=100)

区 分	生 産			出 荷			在 庫		
	指 数	前 月 比 (%)	前年同月比 (%)	指 数	前 月 比 (%)	前年同月比 (%)	指 数	前 月 比 (%)	前年同月比 (%)
金属製品工業	110.9	7.3	4.2	108.2	9.6	2.8	94.1	△ 14.1	△ 4.4
機械工業	119.0	4.3	3.7	124.3	6.7	5.7	134.0	△ 17.8	△ 0.3
一般機械工業	111.4	△ 7.5	△ 6.8	123.8	0.2	1.0	-	-	-
情報通信工業	45.9	△ 60.3	△ 54.1	115.2	△ 19.8	△ 4.8	-	-	-
輸送機械工業	147.1	17.2	35.5	135.3	14.5	27.0	-	-	-
窯業・土石製品工業	82.6	1.8	△ 13.8	82.9	5.2	△ 6.0	118.0	△ 8.6	4.4
化学工業	101.6	0.2	△ 8.3	103.8	7.9	△ 6.3	44.6	16.1	△ 54.6
プラスチック製品工業	103.5	△ 3.5	△ 1.6	108.7	△ 1.5	△ 2.4	96.0	△ 4.1	△ 1.3

前年同月比は原指数による

主要業種別鉱工業生産指数

(季節調整済、平成17年=100)

